

二十五日(日)

阿字観 密教瞑想
(メディアーション)

嵯峨野・観音院

会場
嵯峨野・観音院本堂

●十三時

護摩法要

観音院住職

白石慈恵尼

副住職

祐佳尼

〔休憩〕

●十三時四〇分

十四時四〇分

阿字観

指導・武内孝善師

〔休憩〕

●十五時

十六時

『われわれは

いかなる存在か

——お大師さま(空海)の

人間観——』

講演・武内孝善師

主催／観音院

★参加費：二〇〇〇円

詳細は参加決定後お伝えします。

混迷の時代。どっぷり空海。

空海研究の二人者、武内孝善先生と過ごす

空海の三日間です…



嵯峨野

観音院

慈悲、慈愛の御寺

真言宗御室派 観音院

郵便 616-8426

京都市右京区嵯峨二尊院門前往生院町5-2

電話 075-861-8550 電送 075-862-1415

mail: info@kannon-in-kyoto.org

http://www.kannon-in-kyoto.org

電車…… JR嵯峨野線(山陰本線)嵯峨嵐山駅下車 徒歩20分

バス…… 大覚寺行き 嵯峨釈迦堂前下車 徒歩10分

タクシー…… JR京都駅 約30か640分



©Ingeel Geoffrey

K O O

K A I

混迷の時代。どっぷり空海。

空海研究の二人者、武内孝善先生と過ごす

空海の三日間です…

十二月

〆陽来復の『冬至』は太陽祭儀。

復活した新生の太陽の光をうけて「空海の三日間」がはじまる…

二十一日(水)◆終い弘法(東寺)

二十二日(木)◆冬至

二十三日(金)◆空海学会(嵯峨野・観音院)

二十四日(土)◆空海道を歩く(神護寺〜大覚寺)

二十五日(日)◆阿字観(嵯峨野・観音院)

嵯峨野・京都

観音院 (真言宗・御室派寺院)

空海・般渉

クーカイ

バンシキ

〔遍照金剛〕とも呼ばれ「お大師さま(弘法大師)」と親しまれて「空海」さんの幼少期、
俗名は「真魚」……つまり、サカナだった……

生まれたるの冬至の太陽の光の下で、魚の化身かもしれない空海さんの足跡を辿ってみたい…

観音音楽 4

会場は寺院本堂と千体観音堂ですが、入場人数に限りがあります。
物理的に超過が生まれたら立ち見または入場を制限させていただきます。
ご了承をご了承願います。お申し込み、お問い合わせは裏面記載まで。

©Text&AD: Takeda yoshifumi, Design: Tani kouichi, Special thanks: Endo masaru, Kikuya yoshimi, Torio ranami

二十三日(金)

空海学会

嵯峨野・観音院

混迷の時代。どっぷり空海。

空海研究の二人者、武内孝善先生と過ごす
空海の三日間です…

令和四年度
空海学会 学術大会

主催／空海学会

会場／嵯峨野・観音院本堂

● 十二時三〇分～二〇時三〇分

● 十二時三〇分～二〇時三〇分

開会式

● 十時三〇分 受付開始

● 十二時二〇分 会長挨拶

学術大会・研究発表

● 十二時三〇分～十五時

「記念講演」

● 十五時二〇分～十七時

武内孝善(空海学会会長)

『嵯峨天皇宸筆の「般若心経」と疫病』

黄鐘生林鐘

五大にみな響きあり
十界に言語を具す
六塵ごとごとく文字なり
法身はこれ実相なり

【聲字実相義】

龍笛

【五音七聲】

宮Ⅱ土、商Ⅱ金角Ⅱ木、徵Ⅲ火羽Ⅱ水とそれぞれ五音には五行が配される。

観音音楽 4

盤渉……バンシキと読ませますが、

『管絃音義』でも五行宇宙の(北)の方位

「玄武」に位置づけられる。

フライン・エレメンツでは木火土金水の

〈水〉に当てられ季節は〈冬〉。

厳冬の《白銀の盤上》を錫杖かたてに

ひとり渉覧する姿

「空海、少年の日好んで山水渉覧せし…」が
目に浮かぶようです。

高雄
神護寺

嵯峨野
大覚寺

空海道

【四簡法要】を
構成するのが四つの
「唄」、
「散華」、
「梵音」、
「錫杖」
作法なのであった。

『呂氏春秋』の音律篇

大唐・長安の都から嵐の波濤を乗り越え超多数の密教経典を積載して帰国した空海。
平安京へは西北の高尾山寺(神護寺)を道場に居住。
時の若き天皇、嵯峨天皇が大沢の池のほとりに別荘を築いた。嵯峨院(大覚寺)だ。
高尾山寺と嵯峨院。
そのあいだを結ぶように清滝川の清冽なせせりぎがいつも寸分かわりず流れている。
みなぎる空海の脚足では、一時間足りずの距離が、せせりぎを魚のように涉り歩いた姿が眼にうかぶようだ。
空海さんと嵯峨天皇の親交がはじまった……
国際都市「長安の都」からわが国に丸ごと持ちかえった、国際感覚の響きの総体が嵯峨天皇に伝えられたのです。
さまざまな曼荼羅を観想し、マントラを誦し、はるか西方の文化をも天皇に伝えたことでしょう。
聡明な嵯峨天皇が雅楽を好んだことも知られそうですが、
長安の国際的で自由な雰囲気のおかげに、雅楽・舞楽が流れていたことは当時の漢詩にも描かれています。

清滝川のせせりぎ……

こんどちの「神護寺」から嵯峨天皇の「大覚寺」。

空海さんの歩いた、涉らせせりぎの道。

空海さんの足跡を辿り涉りませんか。

水先案内人は空海研究の二人者、武内孝善先生。

二十四日(土)

空海道を歩く

神護寺、大覚寺

神護寺、大覚寺歴史散策

一〇時～十六時

【一部】神護寺参拝

【二部】神護寺から大覚寺まで

● 一〇時、神護寺山門前集合

神護寺大師堂など特別拝観を

空海博士、武内孝善先生の解説による

● 十二時、昼食(弁当)

● 十二時三〇分、神護寺出発

清滝川沿い「空海道」を渉覧し嵯峨天皇の大覚寺へ

● 十五時三〇分、大覚寺参拝

● 十六時、大覚寺駐車場解散

主催／観音院

★参加費…三〇〇〇円

(特別拝観料+弁当、茶ほか)

詳細は参加決定後お伝えします。
お申し込み先着順、定員次第で切